

体制整備(第3号様式・第4号様式)申請内容

体制整備では、自社のバリューチェーン分析、優先課題の特定、目標（KPI）の設定、ロジックモデルの作成などを行っていただきます。各取組のポイントは以下をご確認ください。

① バリューチェーン分析

- 自社事業のバリューチェーン（本業）と、SDGs（17の目標）、北九州市新ビジョン（北九州市基本構想・基本計画（北九州市の地域課題））との紐づけを実施
- 自社のバリューチェーンにおける、社会や自社にとっての正の影響（ポジティブな影響）や負の影響（ネガティブな影響）を可視化

③ 目標・指標の設定

- 意欲的な目標の設定
- 目標は、具体的で計測可能な期限付きであるもの
- 成果を図るための基準を明示

② 優先課題（マテリアリティ）の特定

- バリューチェーン分析をもとに、自社の優先課題を特定
- どのように優先課題を特定したのか、説明を記載（説明は、図やグラフ等、文章によるものでもなくとも構いません。）

④ 経営への統合

- ここまでの取組や申請内容が経営に統合していることを明記

ロジックモデルの作成

- 例えば、インプット→事業活動・ビジネスモデル→アウトプット→アウトカムといった流れで、インパクトの創出に向けたロジックモデルを作成
- ロジックモデルは、少なくとも3つ、ポジティブ要素とネガティブ要素のインパクト創出に向けたアウトカムを設定
- すべてのアウトカムを新ビジョン（北九州市基本構想・基本計画）に紐づけ

第4号様式に転記（毎年の進捗報告でも使用）